金沢浴場

Kanazawa Yokujou
（東京都新宿区）

今回紹介するのは新宿区の金沢浴場。新宿区と言えば大都会をイメージするが、金沢浴場の周辺は狭い道が入り組んだ住宅地である。ここが新宿？と思うような静かな場所だ。

金沢浴場はビルの１階にある。1970 年代に建設されたビルのようだ。暖簾は「金沢浴場」ではなく、なぜか「金沢湯」。フロントの奥には休憩スペースがある。フロントで下駄箱の鍵を預けると、ロッカーの鍵が渡される。

脱衣室のロッカーの数は 41 個。大きいロッカーと小さいロッカーがあるが、大きな荷物を持っていた取材班には大きなロッカーの鍵が渡された。一見の客に対しても、気遣いが行き届いている。脱衣室にはマッサージ椅子（100 円）、7 kg の洗濯機（300 円）、4.5kg の洗濯機（200 円）、ハトムギ化粧水がある。

浴室には洗い場が 14 か所。うち、6 か所はブースのようになっている。シャワーヘッドの水圧はかなり低い。銭湯には珍しく、リンスインシャンプーとボディーソープが２セット具備されている。シャワーブースは１か所ある。

浴槽は浅風呂、深風呂の他にもう１つ仕切りで囲われた浴槽がある。ジャグジーの浅風呂の湯温はやや熱め。深風呂は熱い湯温の設定になっているようだが、浅風呂の湯温とほぼ変わらなかった。仕切りで囲われている浴槽は、露天風呂をイメージしているようだが、露天風呂ではない。湯温はややぬるめだ。

ペンキ画はなく、代わりにタイル画がある。テーマはメルヘンチック。飛行機や異国情緒のある建物が描かれているようだった。

入浴後にフロントで屋号の由来を聞いてみたところ、創業者が金沢出身というわけではなかった。どうやら、「金の成る沢」にしたいという想いで銭湯を作ったとのことである。銭湯が大いに金儲けになるビジネスであっ

た時代の話だ。

金沢浴場には多くの常連客がいる。大都会・新宿にあって、ここは別世界だった。

DATA

名称	金沢浴場
所在地	東京都新宿区新宿 7-22-11
電話	03-3203-6784
営業時間	15：00～24：00
定休日	火曜日、水曜日
入浴料	大人［12 才以上］ 520 円
	中人［6 才以上 12 才未満（小学生）］ 200 円
	小人［6 才未満（未就学児）］ 100 円
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2023 年 10 月 12 日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	なし